

英文科目名称：

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
前期	1年	1単位	必修
担当教員			
陣内 敦			

講義概要	子ども達が登場する理想的な空間を想像しながら、幼児教育への夢を構築し、これをテーマとしながら紙粘土などを材料に箱庭を制作していく。また、制作の過程の中で、お互いの作品についてディスカッションすることで、表現の内容や方法のあり方を確かめていく。また、この作品発表を行う。		
授業計画	1	オリエンテーションと制作の目的について 箱庭の制作についての概要 学習課題 予習：学科時代の図画工作について振り返りをおこなう 復習：表現について自己目標を立てる	
	2	箱庭の中の物語性について 箱庭の中に込めようとする理想的な空間の構想 学習課題 予習：箱庭を用いた表現について思いをめぐらす 復習：現実ではない夢の世界を発想する	
	3	表現内容と自分の子ども観 子どもたちが登場する空間の中に盛り込む内容を考える 学習課題 予習：自分の保育観・子ども観について思いをめぐらす 復習：子どもにどうあつて欲しいか、思いをめぐらす	
	4	箱庭のアイディアスケッチ（全体） 箱庭全体の構想を考える 学習課題 予習：箱庭の全体的な場面設定を想像する 復習：ここに展開する子どもたちの様子を想像する	
	5	箱庭のアイディアスケッチ（部分） 箱庭に登場する人物等のディテールを考える 学習課題 予習：具体的な子どもたちの表情や動きを想像する 復習：制作の表現方法について構想する	
	6	お互いのアイディアスケッチについてのディスカッション 自分の表現の意図を伝え他者からの意見を聞く 学習課題 予習：自分のアイディアスケッチを客観的に見直す 復習：他者の意見の意図やイメージを振り返る	
	7	アイディアスケッチの修正 他者からの意見を踏まえスケッチを修正する 学習課題 予習：他者の意見も参考にした修正案を模索する 復習：表現への意欲を高める	
	8	粘土成形と着彩① 紙粘土等の素材によって人物や動物を成形し、順次着彩する 学習課題 予習：造形素材の探索をおこない、表現方法や手順を考える 復習：制作の振り返りをおこない、表現の展開を考える	
	9	粘土成形と着彩② 紙粘土等の素材によって人物や動物を成形し、順次着彩する 学習課題 予習：造形素材の探索をおこない、表現方法や手順を考える 復習：制作の振り返りをおこない、表現の展開を考える	
	10	粘土成形と着彩③ 紙粘土等の素材によって人物や動物を成形し、順次着彩する 学習課題 予習：造形素材の探索をおこない、表現方法や手順を考える 復習：制作の振り返りをおこない、表現の展開を考える	
	11	粘土成形と着彩④ 紙粘土等の素材によって人物や動物を成形し、順次着彩する 学習課題 予習：造形素材の探索をおこない、表現方法や手順を考える 復習：制作の振り返りをおこない、表現の展開を考える	
	12	箱庭の空間制作① 様々な素材を用い、背景や土台となる空間を成形していく 学習課題 予習：造形素材の探索をおこない、表現方法や手順を考える 復習：制作の振り返りをおこない、表現の展開を考える	
	13	箱庭の空間制作② 様々な素材を用い、背景や土台となる空間を成形していく 学習課題 予習：造形素材の探索をおこない、表現方法や手順を考える 復習：制作の振り返りをおこない、表現の展開を考える	
	14	箱庭の空間制作③ 様々な素材を用い、背景や土台となる空間を成形していく 学習課題 予習：造形素材の探索をおこない、表現方法や手順を考える 復習：制作の振り返りをおこなう	
	15	箱庭の展示発表 子ども観を詩にしたため、作品に添えて展示発表をおこなう 学習課題 予習：詩の構想を考える 復習：子ども観を伝えることの大切さを考える	

授業形態	演習
評価の観点、評価手段・方法、評価比率	①幼児と接していく豊かな情操を獲得している ②基本的な造形（工作）技術と造形（工作）原理を習得している ③自らの保育観を想像的かつ創造的に具現化（立体化）することができる ④保育施設で保育者がおこなう造形に関連する役割を検証することができる ⑤保育者が備えるべき造形教育の資質を検証することができる
教科書・参考書	課題ごとに、必要な参考資料を提示。また、手順を解説したプリントを配布。
履修条件	
履修上の注意	
オフィスアワー	授業時間前後に教室で質問を受け付ける。任意に研究室を訪ね質問することも可能である。
備考・メッセージ	課題ごとの材料と道具は、一括購入する物と各自準備する物との別があり、事前連絡に留意すること。 また、課題ごとに設けた作品提出期限を厳守すること。